

重点課題

# 働き方改革 ダイバーシティ推進



## スポーツ振興 スポーツ振興への取組み

2020年に東京オリンピック、2021年には46年ぶりに三重県で国民体育大会（三重とわか国体）の開催を控えており、スポーツを通じた地域振興が期待されています。

このようななか、2019年4月、柔道100kg超級の国際大会などで活躍する原沢 久喜選手を採用し、当行所属のトップアスリートは5名となりました。

当行では、世界に羽ばたくトップアスリートを採用することで、地域のスポーツに対する機運をさらに高めるとともに、県内のスポーツ大会への協賛などを通じて、地域のスポーツ振興に貢献していきたいと考えています。



## 多様な雇用機会 障がい者雇用への取組み

当行のグループ会社である百五管理サービス株式会社では、2016年2月、東海三県に本店所在地のある地方銀行で初めて特例子会社\*の認定を受け、障がい者雇用に取り組んでいます。県内の特別支援学校を中心に職場実習を積極的に受け入れ、知的障がいや精神障がいなど多様な障がいのある方々が働いています。主な業務は、当行の委託による保存文書の保管と廃棄、帳票・物品類の発送、印刷や製本などです。また、取組事例の紹介や職場見学の受入れも行い、地域の障がい者雇用の促進にも積極的に協力しています。

\*特例子会社  
企業が、障がい者の雇用の促進および安定を図る目的でつくる子会社のこと。  
また、一定の要件を満たす場合には、その子会社の障がい者雇用数を親会社（企業グループ）全体の雇用分として合算することが認められています（特例子会社制度）。



## 介護 従業員向け介護セミナーの開催

高齢化社会を迎えるなか、今後、介護との両立を余儀なくされる行員の増加が懸念され、育児と同様に時間制約のある働き方を求められるケースも少なくありません。当行では、介護に対する理解を深めるため、従業員向けにセミナーを開催し、「ある日突然降りかかる介護」に対して事前の心構えと両立をスムーズに進めるためのポイントを学びました。また経験者とのパネルディスカッションでは、介護を自分事として身近に感じる機会を提供しました。

参加者からは、「経験者の声が生で聞け、非常に参考になった」「悩んでいるのは自分だけでなく安心した」「部下に適切なアドバイスができる」などの声が寄せられ、将来起こりうる介護に備えるための気づきや共感の場となりました。

